ISO/IEC 16480 規格化

自動認識コンサルタント
柴田　彰

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2019-10-01

ISO/IEC 16480 モバイルORM規格化過程

投票	期間	結果	コメント	CRM
NP投票 31N3182 31N3236（結果）	開始 2010-06-04 終了 2010-09-02	賛成13,反対5（オーストラリア、フランス、アイルランド、オランダ、スペイン）,棄権9,無投票5	提出国:日本、米国、韓国、ロシア、オーストラリア（ QRコード以外のバーコードシンボルも対象にすべき）、フランス（同）、アイルランド（同）、オランダ（同）、スペイン（同 ）	CRM: 2010-11-12 電話会議 31N3267
タイトル 変更投票 31N3284 31N3367（結果）	開始 2010-11-15 終了 2011-02-14	賛成23,反対1（フランス）,棄権4,無投票4	提出国:フランス（当初のタイトルに戻すべき）	CRM&WD作成 2011-04-20 ストックホルム会議 31N3334
スコープ 変更投票 31N3285 31N3366（結果）	開始 2010-11-15 終了 2011-02-14	賛成22,反対2（英国、フランス）、棄権4,無投票4	提出国:ロシア、英国（ISO/IEC 15415/15416との関連で規格化すべき）、フランス（当初のスコープに戻すべき）	
WD作成	2011-10-18 エバレット会議 31N3512		2012-04-25 京都会議 31N3647	
CD投票 31N3874 31N3913（結果）	開始 2012-07-23 終了 2012-09-23	賛成19,反対1（フランス）, 棄権8,無投票4	提出国:日本、米国、フランス（1次元シンボルも扱うべき）	CRM: 2012-10-18 ベルリン会議 31N3889,31N3890

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2019-10-01

ISO/IEC 16480 モバイルORM規格化過程

投票	期間	結果	コメント	CRM
2nd CD投票 31N3937 31N3984（結果）	開始 2012-11-14 終了 2013-01-14	賛成20,反対0, 棄権9,無投票3	提出国: 日本、米国、中国、 ロシア	CRM: 2013-03-12 ボルダー会議 31N3985
3rd CD投票 31N4106 31N4145（結果）	開始 2013-07-06 終了 2013-09-05	賛成17, 反対1（ドイツ）, 棄権10,無投票3	提出国: フランス、日本、 ロシア、英国、 スウェーデン、米国	CRM: 2013-10-22 京都会議 31N4078 31N4177（結果） CRM: 2013-11-21 電話会議 31N4155
DIS投票 31N4182 31N4274（結果）	開始 2014-02-13 終了 2014-05-13	賛成20,反対0, 棄権16		

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2019-10-01

ISO/IEC 16480 モバイルORM規格化過程

ISO/IEC 16480 タイトル変更に関する補足

タイトル変更は、新規提案時のタイトルが
”Specification and implementation guideline for Optically Readable Media (ORM) reader incorporated in a mobile device and display method of ORM on mobile device”
と長いので簡潔に
” Reading and display of ORM by mobile devices”
とする投票を10年11月15日~11年2月14日に実施し、賛成22カ国、反対2カ国（米国及びフランス）でパスしたが、米国及びフランスからの反対コメントの対応を協議。

米国からは、当規格ではモバイルデバイスに表示するコードのみを扱うべきであり、フランスからはモバイルデバイスに表示するコードはIATAで規格化しており、それに影響するようであれば、モバイルデバイスによるコードの読取りのみにするべきであるとのコメント。これに対して、当初の新規提案時からモバイルデバイスによるコードの表示と読取りの両方を意図しており、米国及びフランスコメント共に容認できないとしたが、タイトルは誤解を招かないように、
”Optically Readable Media (ORM) print quality for mobile devices and ORM display quality on mobile devices”
とした。

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2019-10-01

ISO/IEC 16480 モバイルORM規格化過程

ISO/IEC 16480 スコープ変更に関しての補足

スコープ変更投票は10年11月15日~11年2月14日に実施され、賛成22カ国、反対2カ国（英国及びフランス）でパスしたが、英国及びフランスからの反対コメントに加え、米国及びロシアからコメントがあり、対応を協議。

スコープもタイトル同様に当初の新規提案から内容の変更はしていなく、コメントは容認できないが、次の通り、より明確な文書にすることにした。

"This international standard specifies a method to assess the symbol quality rendered on electronic displays (i.e. the symbol produces its own light) when the reading device is a two-dimensional bar code imager.

In addition, this international standard specifies a method to assess the quality of symbols that are intended to be read with general-purpose cameras in ambient lighting conditions.

Further, this international standard describes modifications which are to be considered in conjunction with the symbol quality methodology when applied to a particular symbology specification as defined in ISO/IEC 15415 and ISO/IEC 15416. It defines alternative illumination conditions, display pixel conditions and the reporting of the grading results. This document also describes appropriate ranges of symbol X-dimensions."

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata

ご清聴、ありがとうございました。

自動認識コンサルタント
柴田　彰

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2019-10-01